

長篠城 愛知県新城市長篠字市場 22 番地 1

長篠城は 1508 年 (永正 5)土岐氏の一族の菅沼元成が築いた宇連川と寒狭川の合流点、北方背後には大通寺山、医王寺山を控えている天然の要害で、代々長篠菅沼氏が居城として利用したが、1573 年 (天正 1)に武田方についた菅沼氏を徳川家康が攻め落城させた。以降、徳川氏にとって対武田方の最前線基地となり、北側から攻めよせる武田軍を想定して大改修を行っている。1575 年 (天正 3)武田勝頼 1 万 5 千での攻撃に対し家康の家臣奥平貞昌は 500 人で籠城戦を鳥居強右衛門等の決死の働きなどで持ちこたえ、続く長篠・設楽原の戦いによって武田氏は敗北。翌年奥平氏は居城を新城城に移したため長篠城は廃城となる。
(パンフ、旅コト塾資料)

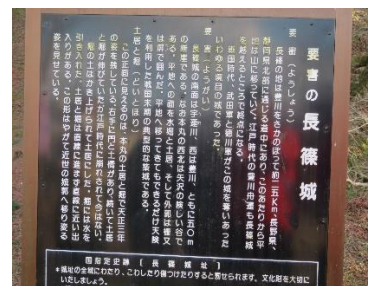


長篠城説明版

歴代長篠城主

城主	年代	説明
菅沼元成	1508 (永正5)	今川氏親の依頼として、ここに城を築く。それより長篠菅沼氏とされる。
徳川元直	1561 (永禄2)	徳川家康の父、今川氏親の嫡子として、ここに城を築く。
徳川元直	1569 (永禄10)	今川氏親の嫡子として、ここに城を築く。
徳川元直	1571 (天正3)	徳川家康の父、今川氏親の嫡子として、ここに城を築く。
徳川元直	1573 (天正1)	徳川家康の父、今川氏親の嫡子として、ここに城を築く。
徳川元直	1575 (天正3)	徳川家康の父、今川氏親の嫡子として、ここに城を築く。

歴代城主の変遷



説明版



本丸に入る前の濠



城址の石柱



土塁のうえにも石柱



本丸に飯田線が走る



鳥居強右衛門磔の場所



本丸の石柱



飯田線の線路は真直ぐ



本丸を守る土塁



本丸にある井戸跡



奥平伝来の血染めの陣太鼓



武田軍に捕えられ磔になる鳥居強右衛門の図

